

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻	2026年度
専門科目	修士課程《一般・外国人・社会人》・研修生	春季

[I]

《解答又は解答例》

(A) 各論者で採点のポイントとなるのは以下の通りである。ただし、解答はこれに限られるものではない。また、具体的事例として想定されるものを一つずつ示した。

	ヴェーバー	パーソンズ	フーコー	ブルデュー
概念	<ul style="list-style-type: none"> ・「抵抗を排してまでも自己の意志を完徹」する強制力としての権力。特に政治団体においては物理的暴力に依拠する。 ・権力による支配への安定した服従がいかに得られるかという観点から「支配の正当性」が論じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「政治体」の集合的目標達成に寄与する「シンボリック・メディア」としての権力。 ・集合的義務を活性化することで人々の支持を動員する力として作用する。 ・強制力を重視するヴェーバーの権力概念への批判。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「パノプティコン」において、自己を監視する権力の視線を内面化させる「規律訓練」としての権力 ・社会生活のミクロな場での作用 ・ヴェーバー的な権力の支配/服従図式のへ批判。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の認知の仕方や世界観・価値観を作り出し、現実の秩序を正当化する作用を果たす「象徴権力」としての権力。 ・物理的暴力による強制力とは区別された「象徴的」な次元での権力。
事例の例	近代的法治国家の権力が作用する状況	選挙キャンペーンを通じて政治リーダーが権力を獲得する状況	学校の授業の中で、生徒の「従順な身体」をつくられていく状況	例) 国家が認定した学歴が「正当」な資格として受け取られる状況

(B) 論述形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできない。解答にあたっては、以下の3点を意識して論述すること。①問題のキーワードである「デジタル・トランスフォーメーション」やそれに関連するメディア学や社会学の基本的用語についての一般的な理解を示すこと、②デジタル・トランスフォーメーションは、デジタル技術の進歩による産業・企業側の変化や革新に関連して語られることも多いが、設問では人びとの日常生活の変化と結びつけることが求められており、自分の生活の中で経験したりニュースで取り上げられたりする具体的な事例に対して的確な理解を示すこと、③現状についての認識をふまえて、今後の展望について自らの考えを適切に示すこと。単純に肯定的か否定的かというよりも、より具体的な展望を述べるのが望ましい。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻	2026年度
専門科目	修士課程《一般・外国人・社会人》・研修生	春季

《出題の意図》

- (A) 社会学で最も重要なテーマの一つである「権力」について、学説とその意義がどの程度よく理解されているのかを問う問題である。
- (B) メディアに関するトピックの論述を通じて、事例に対する正確な説明能力、および文章力を測るとともに、社会の動向に対する正確な知識や認識、ならびに論理的思考力を有しているかを問うことを意図した問題である。

[II]

《解答又は解答例》

(1) スノーボールサンプリング

調査において、調査対象から次の調査対象者を紹介してもらうことで、サンプルのサイズを雪だるまのように拡大していく方法。母集団にアクセスするのが困難な場合に有効な手法で、社会学の調査でしばしば用いられるが、人間関係のネットワークに依存しているため、サンプルにバイアスがかかる場合もある。

(2) 機械的連帯と有機的連帯

エミール・デュルケムが論じた概念で、分業が進む以前の「環節社会」における、類似性に基づく人々の結合が機械的連帯であるのに対し、分業が進んだ社会において、異質な者同士が相互に依存することによって形成される人々の結合が有機的連帯である。

(3) シティズンシップ

政治共同体における成員資格とそれに付随した権利義務の体系。近代社会においては国家における成員資格（国籍）とそれに付随した権利義務の体系を意味し、権利としては裁判を受ける権利、参政権、社会給付や教育を受ける権利などがあり、義務としては兵役や法律に従う義務などがある。近年は EU において国家を越えた「欧州シティズンシップ」も出現している。

(4) 儀礼的無関心

アーヴィング・ゴッフマンが提唱した概念で、居合わせた人が相手の存在は認めつつも、露骨な関心を向けないように配慮し、相互行為をスムーズに行うための工夫。エレベーターに乗り合わせた人々が、互いに視線を合わせないなどの例がある。

(5) AGIL 図式

タルコット・パーソンズが提起した概念で、全てのシステムは A=適応、G=目標達成、

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻	2026年度
専門科目	修士課程《一般・外国人・社会人》・研修生	春季

I=統合、L=潜在的パターン維持の四つの機能を持つとする図式。例えば「行為システム」の場合、A サブシステムが行動有機体、G サブシステムがパーソナリティ・システム、I サブシステムが社会システム、L サブシステムが文化システムとなる。

(6) リスク社会

ウルリヒ・ベックが提起した概念で、科学技術の発達や産業化といった近代文明がもたらした成果があらたな「リスク」となり、それへの対処が迫られている社会。原子力発電がもたらす原発事故や放射線汚染のリスクがその一例である。

(7) 参与観察

研究者が調査対象の現場に実際に入り込み、その社会や文化、行動などを観察したり記録したりする質的調査手法のひとつ。量的手法では捉えきれない微細な文化的、社会的現象を把握するのに適している。

(8) シンギュラリティ

人工知能（AI）が高度に発達した結果、人間の知能を凌駕し、その後の技術進歩が人間の理解や予測を完全に超えてしまう時点。AIの発展の先にある技術的特異点を指す。

(9) ダークパターン

主にウェブサイトやアプリにおいて、ユーザを欺くために巧妙に設計されたインターフェース。ユーザの認知バイアスを利用して、多くの時間やお金などを使わせてしまうように設計されている。

(10) 大衆文化

一般大衆が広く共有し楽しむ文化現象を指し、映画や音楽、テレビ、ファッションなど、多くの人々が気軽に触れられる娯楽やライフスタイルを含む。ポピュラーカルチャーやポップカルチャー、マスカルチャーとも呼ばれる。

(11) ファクトチェック

情報の正確性や妥当性を検証し、事実に基づいた正確な情報を提供するためのプロセス。医療や政治、災害など、特に影響が大きいトピックにおいて、誤情報が拡散することを防ぐために重要となる。

(12) ランサムウェア

コンピュータやスマートフォンなどに保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号するための対価（金銭や暗号資産）を要求する不正プログラム

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》・研修生	2026年度 春季
専門科目		

プログラム。

《出題の意図》

社会学（社会調査をふくむ）およびメディア学の基礎概念についての知識の有無と理解を問う。社会学やメディア学の辞典や教科書、あるいは近年の論説で取り上げられることの多い概念から出題している。(2)～(6)は社会学、(1)および(7)は社会調査、(8)～(12)はメディア学にかんする概念。